

旅と日本発見―移動と交通の文化形成力 目次

まえがき 白幡洋三郎

I 旅と日本「発見」

旅と「発見」——西洋見立ての理想郷、江戸郊外の王子 白幡洋三郎 3

旅のなかの異文化像——旅の魅力—— ペーター・パンツァー 17

【コラム】日本人の旅——発見の楽しみ 池内 紀 31

II 日本の旅、旅の文化

江戸の小さな旅——雑司ヶ谷鬼子母神を中心に—— 原田信男 39

旅人の発見——堀秀成の「秋田日記」 錦 仁 59

【コラム】時代とともに変わる中国から日本への旅のイメージ 巖 安生 85

III 近世史料にみる旅

寺社参詣における書物の機能——鎌倉参詣と『新編鎌倉志』—— 原淳一郎 91

藩士の参勤交代をめぐる諸視点 コンスタンチン・ヴァポリス 111

幼童の輩に臥遊の悦びを——比較の視点から見る名所図会——

唐 権 123

IV 旅と女性

女の旅、庶民の旅 浅見和彦 153

女性の旅を禁じる儒教文化——花見をすると敲き一〇〇回の重敲——

申 昌浩 173

【コラム】遊郭への小旅行——近場に「癒し」を求めて 高田公理 191

V 鎖国・開国と日本

オランダ商館型日本観と鎖国 フレデリック・クレインス 197

旅と政変——幕末明治初期を旅行したモンブラン伯（白山伯） ウイリー・ヴァンデワラ 209

【コラム】幕末オランダ留学生一行の行きと帰り——スンダ海峡からマラッカ海峡へ—— 園田英弘 233

VI 様々な旅人

風景画家による日本の自然「発見」——アルフレッド・パーソンズと大下藤次郎—— 西田正憲 237

ファン・ボイ・チャウ（潘佩珠）と明治日本 ビン・シン 251

アグリコル・ペルディギエの遍歴 天野史郎 261

門付けにおける演場の問題——門前から座敷まで——

朴 銓烈 287

VII 観光と政策

北海道観光の展開——旅館の特性からみた観光情報の伝達—— 高橋伸子 297

海外団体パッケージ・ツアーの普及と土産物店での購買行動 濱名 篤 309

国家と地方のアイデンティティ構築——北タイ、メホンソン県の観光政策のジレンマ—— ドウアンチャイ・ロタナワニット 321

VIII 移動と文化形成

世界一周の夢を実現したパイオニア群像——東京・大阪両朝日新聞社主催「世界一周会」によせて—— 竹村民郎 337

あこがれのハワイ航路——アジアの「西」、西洋の「東」 多田伊織 361

名所化する遺跡——静岡前墓所伝承地の二〇〇年—— 白井哲哉 381

旅行文化の新たな局面 佐瀬（菊池）優子 395

共同研究会記録

共同研究員一覧

406 401